

令和3年6月定例会

予算委員会
全体会議録

6月22日（火）

防府市議会

令和3年第3回 予算委員会会議録

○日 時 令和3年6月22日（火） 午前10時

○場 所 議会棟2階 議場

○付議事件 議案第43号 令和3年度防府市一般会計補正予算（第2号）

○出席委員（24名）

委員長	高砂 朋子
副委員長	石田 卓成
委員	青木 明夫
委員	今津 誠一
委員	牛見 航
委員	宇多村史朗
委員	梅本 洋平
委員	河杉 憲二
委員	河村 孝
委員	久保 潤爾
委員	清水 力志
委員	曾我 好則
委員	田中 健次
委員	田中 敏靖
委員	橋本龍太郎
委員	藤村こずえ
委員	松村 学
委員	三原 昭治
委員	村木 正弘
委員	森重 豊
委員	安村 政治
委員	山田 耕治
委員	吉村祐太郎
委員	和田 敏明

○欠席委員（なし）

○その他の出席者

議長 上田 和夫

○説明のため出席した者（21名）

総務部長 熊野 博之

総務部次長 竹末 忠巳

財政課長 池田 晋

総合政策部長 石丸 泰三

総合政策部次長 高橋 光男

政策推進課長 松田 伸一

地域交流部長 能野 英人

地域交流部次長 亀井 幸一

地域振興課長 北村 康芳

健康福祉部長 藤井 隆

健康福祉部次長 永松 勉

健康増進課長 秋重 郁子

健康増進課主幹 篠原 昭二

社会福祉課長 金子 照

教育長 江山 稔

教育部長 杉江 純一

教育部次長 石丸 典子

学校教育課長 山本 純也

産業振興部長 白井 智浩

産業振興部次長 藤井 正明

商工振興課長 本間 良寛

○討論に出席した者（13名）

教育長	江山 稔
総務部長	熊野 博之
総合政策部長	石丸 泰三
地域交流部長	能野 英人
生活環境部長	入江 裕司
健康福祉部長	藤井 隆
産業振興部長	白井 智浩
土木都市建設部長	石光 徹
会計管理者	寺畑 俊孝
教育部長	杉江 純一
議会事務局長	藤井 一郎
消防長	米本 静雄
上下水道事業管理者	河内 政昭

○出席書記 秋里 あゆみ

午前10時 開会

○高砂委員長 おはようございます。ただいまから予算委員会を開催いたします。

議案第43号 令和3年度防府市一般会計補正予算（第2号）

○高砂委員長 さきの本会議におきまして、当委員会に付託となりました議案第43号・令和3年度防府市一般会計補正予算（第2号）について、お手元に配付しております審査日程並びに審査要領に基づき審査を行いますので、よろしく願いいたします。

なお、本案につきましては去る6月9日の議会運営委員会において、分科会での審査を省略することを全会一致で決定しております。したがって、本日は採決まで行うこととなりますので、よろしく願いいたします。

それでは、これより総務委員会、教育民生委員会、産業建設委員会の各所管順に、執行部の補足説明を求めます。

まず、総務委員会所管のうち総務部、総合政策部及び地域交流部の事項について、執行部の補足説明を求めます。

なお、発言に際しましては挙手の上、委員長の許可を得た後にお願いいたします。

○**竹末総務部次長** 総務部でございます。議案第43号・令和3年度防府市一般会計補正予算（第2号）のうち、総務部所管事項について御説明申し上げます。

今回の一般会計補正予算において、総務部所管の歳出はございませんので、歳入について御説明をいたします。

補正予算書の4ページ、5ページをお願いいたします。

下段の表の1目財政調整基金繰入金につきましては、このたびの補正予算において不足いたします一般財源5億5,600万円につきまして、財政調整基金の取崩しにより対応するものでございます。

総務部の補正予算につきましては以上でございます。よろしく御審議のほどお願い申し上げます。

○**高橋総合政策部次長** 総合政策部でございます。引き続き総合政策部所管分について御説明申し上げます。

補正予算書の同じく4ページ、5ページを御覧ください。

3段目の表の3目まち・ひと・しごと創生寄附金21万8,000円につきましては、マックスバリュー西日本株式会社様よりいただきました、企業版ふるさと納税による寄附金を計上するものでございます。

総合政策部は以上でございます。御審議のほどよろしくお願いいたします。

○**亀井地域交流部次長** おはようございます。続きまして、地域交流部の予算について御説明申し上げます。

令和3年度防府市一般会計補正予算（第2号）の8、9ページをお願いいたします。

8ページ、9ページ上段の2款総務費1項総務管理費の16目地域振興費の自治宝くじコミュニティセンター助成事業助成金でございます。

地域住民のコミュニティ活動の拠点となり、災害発生時には一時避難場所にもなる自治会館でございますが、今般、一般財団法人自治総合センターのコミュニティ助成事業助成金、いわゆる自治宝くじの社会貢献広報事業助成金と呼ばれるものですが、古谷河内自治会と若宮自治会の2つの自治会館の建て替えを支援することが決定されております。それぞれの自治会に1,500万円ずつ、合計3,000万円の助成を計上しています。

また、歳入につきましては、6、7ページにあるとおり、諸収入に同額を計上しております。

よろしく御審議のほどお願いいたします。

○**高砂委員長** ただいまの補足説明に対する質疑を求めます。

○和田委員 御説明ありがとうございます。まず補正予算書の4ページ、5ページ、3段目のまち・ひと・しごと創生寄附金ですが、これ私ちょっと伺っているのが概要の2ページかな、概要2ページの下の方の内訳のところ、プログラミングロボット活用事業、これということいいんですかね。

○松田政策推進課長 お答えいたします。この寄附金が充てられる歳出につきましては、今おっしゃられた教育関係の歳出に充てるものでございます。

○和田委員 これ何かミニカーを20台ほどというふうなことも聞いておるんですけど、ちょっと詳しく教えていただきたいのと、それとまたどういう効果が見込めるのかということも含めてお願いいたします。

○高砂委員長 和田委員。すみません、その質問を教育委員会のときにまた改めてしていただければと思います。よろしくお願いします。

○和田委員 すみません、失礼しました。

補正予算書の9ページの一番上ですね、自治宝くじコミュニティセンター助成事業助成金ですが、これ自治会館の改修に充てていただけるということで大変ありがたいと思うんですが、これ今までありましたかいね。これまたほかの自治会に対しても、建て替えの際にはこれずっと活用できるということいいんですかいね。ちょっとお尋ねします。

○北村地域振興課長 お答えいたします。今回、計上させていただきました3,000万円につきましては、宝くじの社会貢献事業としてコミュニティセンター助成事業というものがございしますが、それに応募したものでございます。

今回初めてでございますが、今後採択されるかどうかにつきましては自治総合センターの判断になりますが、今後そういった利用をしていきたいと考えております。

以上でございます。

○和田委員 自治会によって大小かなり差があると思うんですが、この金額の内訳というのはそういうふうな形で、それぞれに見合った額という振り分けになるんでしょうか。それとももう決まった額を、その応募じゃないですけど、あった自治会がそれぞれ均等に割り振っていくという考え方なんでしょうか、お伺いいたします。

○北村地域振興課長 お答えいたします。金額については、補助率が5分の3になります。なお、上限が1,500万円になりますので、上限いっぱいという形になります。

以上でございます。

○高砂委員長 ほかにございせんか。

○田中（健）委員 4ページ、5ページの歳入の繰入金ですけれども、財政調整基金繰入金で5億5,600万円繰り入れるということで、財政調整基金を一定の金額持ちたいと

いうことの関係で、5億5,600万円繰り入れて財調の積立残額は今幾らになるんですかね。

○池田財政課長 お答えします。当初予算において、国の臨時交付金を最大限使って、こういった経済対策をやってきました。それで今回、市内の経済状況を鑑み緊急的な追加経済対策を講じたということで、これに伴う一般財源、今言われたように5億5,600万円ほど財調で対応することとしております。

この対応につきまして、集計中ではございますが、総合計画で今年度末決算ベース、財政調整基金残高20億円以上を必ずキープするという考えのもとで、この5億5,600万円で対応するということで行っております。

以上です。すみません。

○田中（健）委員 いやだから、5億5,600万円崩したら残額は幾らになるんですかて聞いているんですが。

○池田財政課長 ちょっと集計中というかあれなんですけど、今現在、今年度の収支を加味しないという前提でいきますと、我々が今見込んでいるのは令和3年度末残高が二十四、五億円になると見込んでおります。

以上です。

○田中（健）委員 いや、それはいろいろ今後の、そのいろんな財政運営によってなるわけで、年度当初の残高がまず幾らだったのか、そして今回5億5,600万円、6月議会ですから初めてこの議会で取崩しするわけですよ、それで幾ら下がったかと。

そして、令和2年度決算が6月段階であらかた分かってるわけですから、黒字額が幾らぐらいになるのか、その半額を少なくとも財調に積み立てるわけで、それで幾らぐらいになるのか、そういうところをもうちょっとつまびらかにしてもらわないと、年度末に二十四、五億円ありますよというその答弁だけじゃなくて、現状もうちょっと丁寧に説明していただかないと困るんですけれども。

○池田財政課長 すみませんでした。まず、令和2年度末残高の財政調整基金残高につきましては、3月議会でも7.8億円ほど財調取り崩すということでお示しさせていただきました。これを予定どおり崩させていただきました、当初予算の概要にも書いてありますとおり27.8億円で今試算しております。

その後、当初予算におきましては積立金0.5億円、取崩しについては12.8億円組んでおります。今回5億5,600万円崩すということで、そこが18.4億円崩すということになります。予算上は、それを計算しますと9.9億円という形になります。

ただ、今言われたように令和2年度の実質収支につきまして、今年度につきましては

19. 2億円、今まだちょっと集計中というか分析中なんですけど、今のところ約19億円出ると見込んでおります。このうち国・県からの補助金をもらい過ぎというか、そういう令和3年度に返還しないといけないやつが4.5億円ぐらい含まれています。なので、これらを全部差し引いて、半分は法定積立金となるんですけど、残りは今後の補正予算の財源となります。これを今のところ全部積み立てたとして考えた場合、結果が二十四、五億円になるということでございます。

以上です。

○田中（健）委員 もうこれでやめますけれども、昨年度から決算のあらましの概要というものを示していただかないので、こういう形で予算委員会の中で聞くしかないわけですけども、決算が大体どうなるのか一昨年まではずっと示していただいたんですよ。

だから、やはり議案にならなくても参考資料であるだとか、我々も財政運営がどうなってるのか非常に気にしながら、いろいろ一般質問で要望するとかいうことがこれまでの流れだったと思うんですよ。

財政的に厳しければ、やはりある程度のことは考えて我慢しないといけないということがあるかもしれないし、余裕があるのであればやっぱり市民のためにこういうふうに使ってほしいということが言えるわけですから、そういったデータを議会のほうにもきちっと示していただきたいということだけ要望しておきます。

○高砂委員長 ほかにございませんか。いいですか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○高砂委員長 ないようですので、以上で質疑を終結いたします。

総務委員会所管部の皆様、お疲れさまでした。

ここで、執行部入れ替えのため、暫時休憩をいたします。

午前10時15分 休憩

午前10時16分 開議

○高砂委員長 休憩を閉じて会議を再開いたします。

続きまして、教育民生委員会所管のうち健康福祉部及び教育委員会の事項について、執行部の補足説明を求めます。

なお、発言は挙手の上、委員長の許可の後をお願いいたします。

○永松健康福祉部次長 健康福祉部でございます。健康福祉部所管分について御説明いたします。

それでは、補正予算書の8ページ、9ページをお願いいたします。

補正予算書中段の1目社会福祉総務費の右ページ、生活困窮者自立支援事業につきましては、補正予算の概要の7ページの下段になりますけれども、新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえた生活困窮者支援として、新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金を支給するための経費を計上いたしております。

この支援金は、コロナウイルス感染症の影響により生活に困窮する世帯への支援である総合支援資金の再貸付が終了するなど特例貸付を利用できない世帯に対して、就労による自立を図ることなどを目的に支給するもので、1人世帯は6万円、2人世帯は8万円、3人以上世帯は10万円を3か月間支給するものです。また、歳入におきましては、この事業に係る国庫補助金を併せて計上いたしております。

次に、補正予算書同ページその下、新型コロナウイルス生活応援事業につきましては、補正予算の概要7ページの上段になります。新型コロナウイルス感染拡大により影響を受けている非課税世帯などの経済的負担の軽減を図るとともに、経済を下支えするため、7月1日現在、防府市に住民登録があり、令和3年度の住民税が非課税の世帯でかつ課税されている方の扶養に入っている方がいない世帯などを対象として、1世帯1万円分の商品券を配布するための経費を計上いたしております。

次に、補正予算書同ページの下段の3目予防費の右ページ、新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業につきましては、補正予算の概要は4ページとなります。医師会、歯科医師会、薬剤師会などの協力のもと、接種を希望される全市民へのワクチン接種を10月末までに完了するため、休日や時間外などでの接種時間を確保したことに伴う新たに雇用する会計年度任用職員の給与、医師などの執務謝礼金、個別接種に対する接種委託料、会場借上料などに係る経費を計上いたしております。

また、歳入におきましては、この事業に係る国庫負担金及び国庫補助金を併せて計上いたしております。

健康福祉部は以上でございます。よろしく御審議のほどお願い申し上げます。

○石丸教育部次長 教育委員会でございます。補正予算のうち教育委員会所管について御説明いたします。

補正予算書の10ページ、11ページをお願いいたします。

下段、10款教育費1項教育総務費3目教育指導費でございます。ICT教育推進事業21万8,000円の増額補正につきましては、企業版ふるさと納税制度を利用し、ICT環境を生かした教育の推進のためということで御寄附をいただきましたので、プログラミングロボットの購入経費を計上しております。

今後、このロボットを活用し、プログラミング的思考を育む教育を推進し、ものづくり

への興味を引き起こし、目的に応じた問題解決を行うことができる人材育成に取り組んでまいります。

次に、補正予算書 12 ページ、13 ページをお願いいたします。

5 項保健体育費 1 目保健体育総務費でございます。概要は 4 ページになります。

学校保健事業で、小中学校の児童生徒などへの PCR 検査委託料として 1,000 万円を計上しております。部活動やスポーツ少年団等に取り組んでいる児童・生徒の成果を発表する場である中国大会、全国大会などへの出場や修学旅行などにより県外との交流があった場合などに、PCR 検査を実施する予定としております。

説明は以上でございます。よろしく御審議のほどお願いいたします。

○高砂委員長 ただいまの補足説明に対する質疑を求めます。

○河村委員 9 ページの中ほどですね、新型コロナウイルス生活応援事業についてお伺いいたします。概要では 7 ページの上のほうになりますが、これは概要の 6 ページのプレミアム付商品券発行事業と同じ商品券を使って行う事業というふうに伺っておりますが、令和 3 年度の住民税が非課税の世帯への配布ということでございますが、世帯数はどれぐらいを想定されているのか。またどのような形、また方法で配布されるのかお伺いいたします。

○金子社会福祉課長 お答えいたします。今、世帯数の見込みとしては、全体で 1 万 5,000 世帯ぐらいを見込んでおるんですが課税状況をもう一度確認して、若干減るのではないかと考えております。

それから、実施の方法についてですが、該当となりそうな方につきましては、市のほうから一旦御案内をお出しして、返信用封筒を入れておまして申請書を御提出いただくという形、それから申請いただいた後はまた郵送でお送りするという形を考えております。

○河村委員 いいですね。郵送という形で、来庁することなく受け取れるということですね。やはり、しっかりその辺のところを丁寧に、今、経済的に困窮されている方も多いわけですから、丁寧に対応していただきたいことを要望します。

以上です。

○高砂委員長 ほかにございませんか。

○松村委員 まずは、今の河村議員の質問に対してちょっともう少し踏み込みたいんですが、非課税世帯が 1 万 5,000 世帯ということでもかなり多く感じます。主には、やっぱり年金受給者とかそういう形になってくるのかなという推測はいたしますが、その辺の内訳ですよね。

普通の世帯で実際、非課税世帯はどれぐらいあるのかということと、その他に細かい種

目別があるのであれば、ちょっとそれについても教えていただきたいと思います。

○金子社会福祉課長 すみません。ちょっと種目別について、細かい内訳のほう今持ってないんですが、以前やはり同じような臨時給付金であったり、プレミアムの国の事業、非課税を対象にという同じ内容でやったもののときは、やはり年金所得者の方ですね、こういった方々が多かったというところになります。

それから、市民税の均等割非課税が対象ということになりますので、所得的には、例えば2人世帯の場合は所得にして93万円となります。これが給与収入であれば年間148万円、それから年金であれば年間160万円ぐらいで非課税になるというところになっております。そうした方々が主な対象という形に、以下の方ですね。

○松村委員 ちょっと今分からないいんかもしれませんが、私は特にちょっとこの数字が気になってまして、こういったところが大きくなっていくというのが、要は水面下で防府市の経済的な打撃が原因なのかそれは分かりませんが、とにかくそういった層が今回のコロナ等でどれだけ増えとるかというところで、今後、全体的な政策として、今回私としては大変よくやっていただいておりますというふうに感謝しておりますが、今後も含めてちょっと参考がてらで教えてほしいということで、後でまた調べてほしいなど。できますかねその辺のところ。

○金子社会福祉課長 ちょっと検討させていただいて、はい。

○松村委員 お願いいたします。じゃあいいですか続けて。この補正予算の概要で7ページの最後、新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援事業でございます。

大変生活が逼迫している方もかなりいらっしゃるというふうに私も耳にはしております。こういう方々のためにも、こういう形で3か月でも支給できるというのは非常にいいなというふうに思っています。

今、支給額、単身、2人世帯、3人以上とこうありますけど、こちらの数字もちょっとお示しいただきたいと思います。それぞれ何世帯ぐらいおるんかということですよ。

○金子社会福祉課長 世帯数についてなんですけど、今ここ個別に世帯人員が何人いるというところは推測でやるとどこなんですけど、今現在この総合支援資金の再貸付、これを今利用されている方で対象になられる方かどうかということになるんですが、この方が今57世帯ですね、あるということになっています。全体では、今もろもろ100世帯分を予算上では考えております。

○松村委員 こちらについても同様に、周知といいますか封書で行くようになるんかもしれませんが、こういう方々というのはなかなか市広報とかあまり読まなかったりとか、あるのを知らんでそのままずっと生活して、苦しい苦しいて言いよる人も結構おるやに聞

いておりますが、その辺の周知方法についてもちょっと教えていただきたいと思います。

○金子社会福祉課長 お答えします。今、再貸付を利用されている方、該当になられる案件の方々については、こういった制度がありますという御案内を郵送でお送りするように今考えております。

○松村委員 それからまた、万が一返事がなかったりしたら、ちょっとお電話等でサジェスションか何かされるんか、そういうアクションがあるんかどうか。あくまで申請せんにゃないよという話になるんか、その辺もちょっと教えていただきたいと思います。

○金子社会福祉課長 この事業の中でも自立支援事業というのがあるんですけど、その関係で支援対象者の方には定期的に連絡等も取っておるので、今回この御案内出して、その後、御利用に関して確認するということは、やっていきたいなというふうに考えております。

○松村委員 ああそうですか、分かりました。じゃあよろしく願いいたします。

○高砂委員長 よろしいですか。

○松村委員 ありがとうございます。

○高砂委員長 ほかにございませんか。いいですか。

○村木委員 概要でいきます。4ページの新型コロナウイルスワクチン接種加速化事業、10月末までに接種を希望される市民は完了するということになってますけども、12歳以上の小・中・高生へ接種を本格的にこれから開始されることになりましたが、保護者の同意が必要であったり、あるいは学校において接種していないことに対して差別があってもいけないと思います。様々な配慮が必要だと思われれます。

まず、市教委において学校における教育的配慮はどのようにされるのか、また具体的な対応はどうするのかお伺いいたします。それと、具体的な接種においてのどのような配慮をされるのかお伺いいたします。

○山本学校教育課長 お答えします。ワクチン接種につきましては、御案内のとおり希望で接種するという形でございます。これは小・中学生についても同様でございます。ですので、この接種しないことがいけないということにならないように、当然、学校では教育的に指導してまいりますし、希望される方には速やかに接種できるような環境を整えていきたいと考えております。

以上でございます。

○村木委員 ありがとうございます。よく分かりました。我々の世代は、集団接種をやった経験があるんですけども、今の子どもたちは本当経験をしたことがないことなので、そのような点も踏まえて細やかな配慮をよろしく願いいたします。

以上です。ありがとうございます。

○藤村委員 概要の4ページ、中ほどの小中学校の児童生徒等へのPCR検査の実施、先ほど説明にもありましたように修学旅行や部活動等により県外との交流があった児童・生徒、教職員等を対象にしたとありましたが、これは防府市立の小・中学校が対象でしょうか。

○山本学校教育課長 お答えいたします。私立の学校につきましては、県のほうでPCR検査を対応することがあるというふうには聞いておりますが、それに対応できないような私立に通われているお子様については、このPCR検査の対象と考えております。

○藤村委員 ありがとうございます。ちょっと県のほうにも確認というか、多分調整中だったのかもしれないんですけど、高校のほうは公立も私立も全て対象というふうにおっしゃってましたが、中学校のほうは特におっしゃってらっしゃらなかったような感じ、まだそのときは調整中だったのかもしれないので、県のほうとよく調整されて、もし対象外になるのであれば、ぜひ市のほうでお願いできたらなという要望をお願いします。

先日の中国大会で、全国大会に行くお子さんもいらっしゃいます。かなり優秀な成績で全国大会に行かれるようですし、またその子は防府市内に居住の子どもでもありますので、ぜひその点もよろしく願いいたします。

先ほど修学旅行も対象にとおっしゃっていましたが、修学旅行は昨年もいろいろと期間が延期になったり場所が変わったり、日帰りになったりとかいろいろ変わったんですけども、今の段階で各校修学旅行の予定とか決まっていたら状況を教えてください。

○山本学校教育課長 お答えいたします。小学校17校、中学校11校、28校ございますが、まず小学校につきましては、野島それから向島についてはお子様がいなかったり、野島につきましては隔年で実施というような対応もされているので、該当校が15校になります。今現在ですが、県外を予定されている学校は2校ございます。いずれも秋に今のところ予定しているということでございます。

中学校のほうにつきましては11校ございますが、野島につきましては先ほどと同様ということで、10校修学旅行を予定されております。そのうち右田中学校につきましては4月下旬に実施されていますので、これはもう対象にならないということで、実際にはこれから9校ほど修学旅行を実施予定でございます。

今現在、まだいろいろ実は検討されていて、まだ未定のところもあるんですが、未定の学校も1校あったり、県外に出る学校というのが今のところ5校というふうにはお聞きしています。その5校も検討中というふうに言われているので、多分今後の感染状況等踏まえられて県内の実施も今後検討される予定だろうと思っております。

以上でございます。

○藤村委員 ありがとうございます。多分、皆さんも試行錯誤されながらだと思いますが、親御さんたちも大変心配されていて、また子どもたちもすごく楽しみにやっばりされている行事ですので、ぜひとも行かせてあげたいなという気持ちもありますし、状況を見てですけども、PCR検査しっかりしていただいて実施していただきたいなというふうに思います。

ちょっと最後に1つ。このPCR検査はいつまで、こういった無料でというか、される予定でしょうか。

○山本学校教育課長 明確に決定してない状況ではあるんですが、今のところ見通しとしては当然、今年度中、冬にも県外との交流が、例えば吹奏楽部はアンサンブルコンテストとかございますので、年度末まではしっかり対応していきたいと考えております。

○藤村委員 分かりました。ありがとうございます。

○高砂委員長 ほかにございませんか。

○三原委員 先ほどの12歳以上の小・中学生なんですけど、接種方法はどのような方法を考えられていますか。

○山本学校教育課長 お答えします。今、集団接種の会場の武道館で小・中・高校生と学校関係者で枠を取っていただいております。ここに希望する児童・生徒さんを、7月1日から優先予約ができる状況になっておりますので、7月1日から4日の間までに希望されれば、その枠を取ることが可能な状況でございます。そこで集団接種を受けていただく。あとはJAとかの空きがあれば、その集団接種会場も可能ですし、もちろんかかりつけ医がありましたらそちらでも接種可能かと考えております。

○三原委員 集団接種は分かりますが、例えば武道館とかJAとかに行かれる手法、これはどのようになっていますか。

○山本学校教育課長 お答えいたします。基本的には小・中学生なので、保護者同伴で接種会場には行っていただくということになっております。保護者の責任において送迎をしていただくというのが1つはございます。どうしても交通手段がない方等は、バスのほうも希望を募って送迎したいというふうに今考えております。

○三原委員 1つ懸念する、先ほどありました差別ということで、バスで送迎される、先般本会議で市長からバスという話がありました。差別がないのが一番いいんですけど、大人でも打ったか打たないかということで、いろいろその人に対する冷ややかな目とか差別的なことがあります。

私、先般市長が言われたときに、バスというのははっきり分かりますよね、行く人行か

ない人と。これもよく考えていただきたいなと思っております。どうしても、大人でさえそういう部分があるんですから、子どもは深くいろいろ考慮するということが大変難しい部分もあると思いますので、はっきり分かるような手法、対応は考えていただきたいということがあります。

それと、それをしっかりしてもらえれば特段大きなものは私はないと思いますが、先ほど接種した人、希望しない人、差別がないためにも教育的なきちんとした指導を行うということでしたが、すみませんが、どんな指導を考えていらっしゃいますか。

○山本学校教育課長 学校現場では、今現在、防府市で陽性反応が出ている方も子どもたちの周りには実際にはいます。あるいはいろいろな事情で長期にわたって休んでいる子どももいます。

これらは日ごろからコロナウイルス感染症対策の1つとして、これについて陽性者を例えば誰かとか特定することを進んでやるようなことは絶対あってはならないし、休んでる子どもに対してその理由を深く追求するというのも絶対あってはならないと。この辺の人権意識を日ごろからしっかり持てるような教育的指導を行っています。

その上で、今回ワクチン接種になったときに、これによって受ける受けないということを経験したことを学校現場で話題にするようなことがあってはならないと思っております。この辺のことをきっちり学校とも共通理解した上で、各学校で目の前に立ってる教員から具体的な、発達段階に応じた話をしてほしいと考えております。

○三原委員 ありがとうございます。実は、私も実際にある小学校で感染者が出た際に保護者の方と何人かお話ししたら、犯人捜しのような感じで誰々さんとか、何とか教室のとかすごく言ってらっしゃいました。

そういうことがあるので、本来は家庭もしっかりしてもらわなければいけないんですけど、学校のほうも教育委員会のほうもしっかり差別がないようによろしく対応をお願いいたします。

以上です。

○高砂委員長 ほかにございませんか。

○和田委員 同じく概要の4ページ、上段の新型コロナウイルスワクチン接種加速化事業ですが、これ1日でもいいし、月でもいいんですが、ワクチンの入りはどのぐらいに予定されてて、それに対して打ち手というのは足りるような状況なんでしょうか。

それと、今までもそうですけど、予約があつて結局来なかったとかいうこともあるみたいですが、その余ったものについてはどういうふうにご利用していくかということも教えてください。

○篠原健康増進課主幹 お答えします。ワクチンの入りなんですけれども、これ大体2週間に1回、国のほうから配達があります。今確定しております次の入荷予定なんですけれども、一応7月1日に20箱、その次の段階で一応16箱の納入、ここまでが今決まっておるといいう状況で、それ以降の予定はちょっと今のところまだ決まっておりません。ワクチンについては一応そういう状況でございます。

打ち手のほうなんですけれども、先般、歯科医師会との、薬剤師会もそうなんですけれども、そういった御協力のおかげで、打ち手のほうにつきましては十分に足りている状況だというふうに今認識しております。

それと、ワクチンが余ったときの対応ということなんですけれども、事前にキャンセルがあればほかの曜日に予約されてる方を入れ替えたり、前倒しして予約センターのほうから本人さんのほうへ連絡して代わりの方を見つけるというふうな方法とっております。

当日の急なキャンセルや予診で発熱等があったりして、医師が接種は不適切、好ましくないよというふうな場合につきましては、すぐに予約センターのほうに連絡して同じようにその会場で後日、1週間以内ぐらいに予約されてる方とかに連絡して、代わりに今からすぐ来ませんかというふうな電話対応をして、無駄のないように接種できるような体制づくりで今実施しているところでございます。

○和田委員 ありがとうございます。ちなみに1箱というのはどのぐらいなんですか。

○篠原健康増進課主幹 1箱が一応195バイアル、1バイアルが今6回分、6人分取れるんですけれども、それが195バイアル入ってるということでございます。ですから、1,170回分が1箱ということになっております。

以上です。

○和田委員 分かりました。それと、小・中学生の接種についてですが、何か右田中はもう既に打たれてるということでしたが、これ今接種されてる大人の方たちも結構その後がちょっとしんどいということで、結構会社を休まれている方がすごい多いそうですが、小・中学生となるとまたさらにちょっと負担が大きいように思うんですが、学校を休ませるというような対応はとれないんでしょうか。

○山本学校教育課長 お答えします。まず右田中学校なんですけど、先ほどの修学旅行の話で右田中学校の名前を出させていただきました。これはワクチン接種が済んでいるということではなくて、修学旅行が済んでいるという状況ですので、まだ小・中学生誰も接種は済んでない状況でございます。

接種をした場合、体調不良等で学校に通えない状況があれば、校長の判断によって出席停止扱いとするということに、これ今身近に陽性者が出たときの不安な状況等も含めて、

学校では子どもたちが安全で安心な気持ちで過ごせるようにということで、各御家庭や子どもに寄り添った対応ということで、校長が判断した場合は出席停止扱いにできるというふうになっております。

○和田委員 子どもたちがなかなか意思を伝えるというのは大変簡単そうで難しいと思いますんで、保護者とまた接種の医師等ともしっかり連携して、子どもの安心・安全をしっかりと確保していただきますようよろしくお願いします。

以上です。

○高砂委員長 ほかにございませんか。

○山田委員 1点だけ。新型コロナウイルスワクチン接種加速化事業でございます。今からどんどん加速化されていくんだろうと私自身は思ってるわけですが、その中で以前もちょっとお話をさせていただきましたが、企業の職域接種、この件について県ともしっかり連携をとってお願いしますというふうに言わせていただきましたが、企業が集団接種をするやはり市民の皆さんもその分早く集団接種ができるということで、確かに有効ではないかと思ってるんですが、ただ企業でやると日にちの問題であったりとか、2回目は熱が出るんで、ひょっとしたらみんなが休んだら会社が回らんのじゃないかみたいな、いろんな不安をやはり企業側も持ってらっしゃいます。

また、ワクチンもモデルナ製ということで解凍してからちょっと長い、12時間もてるみたいですが、そういう相談の窓口は今県の中では職域接種サポートチームというものも設置されたと聞いてますけど、市としてそのような御相談があるのか、またそういう対応ができるような体制になっていくのか、ちょっと教えていただきたいと思います。なければ要望しますけど。

○高砂委員長 どちらで答えられますか。

○藤井健康福祉部長 企業のほうの職域接種でございますが、市のほうでは健康福祉部と産業振興部が連携して相談に対応していきたいと思います。しっかりと対応していきたいと思いますのでよろしくお願いします。

○山田委員 ありがとうございます。先般いただいた資料では、やっぱりそういう県の相談対応や事業所等の訪問等、実施に向けた調整もされてるみたいです。申請件数が27件ということで、これ県全体で防府市としてはどうなのかも含めて、やはりそこはしっかりと把握していただきたいということと、企業も不安ですので、できるだけ皆さんに御負担がかからないように窓口の一本化というところも、やっぱりやらなければいけないのかなというふうに個人的には思ってます。また御相談させていただきますんで、どうぞよろしくお願いします。

以上です。

○高砂委員長 ほかにございませんか。

○松村委員 すみません、もう1点だけです。先ほどの小・中学生のワクチン接種のことなんですが、今割かし進んでおりますけど、いろいろ意見を聞いてみますと若い人ほど39度、40度ぐらいの発熱をするということみたいです。

小学生、中学生になったらどういった影響があるんだろうとか、国のほうでは大丈夫ということを示してはしていますが、やはり我が子と思えば、特に12歳ぐらいで39度、40度の熱が出るということは、かなり負担が大きいんじゃないかというふうに多分思うと思うんですね。

そうしたときの対策といいますか、やはり教育委員会としてはワクチン接種をある程度進める立場を取りながら、辞退する人はもちろん辞退でという考えだと思いますけど、その辺についての対策といいますか、どういうふうにお考えなのか、ちょっとお聞かせいただきたいと思います。

○山本学校教育課長 お答えします。影響につきましては、担当課ともしっかりと情報共有しながら情報収集には努めてまいりたいと考えております。

その上で、これは先ほどから申し上げているとおり任意であると、希望接種なんだというところは確実に念を押していきたいなと思っております。ねばならないというような捉え方をされないように配慮してまいりたいと。

さらに、体調不良を訴えたお子さん等につきましては、先ほどからありますように学校で何らかそのお子さんの体をしっかりサポート、心もサポートできるように、保護者としてしっかり連携を取りながら学校の出席停止等の扱いを丁寧に進めていきたいと思っております。

○松村委員 ちょっと県外なんですけど、早い地域はもう若い人でも打ってるみたいで、津和野とかですけど。そういったところの職員は、やっぱり次の日は発熱がひどくて休んだという実績もあるんで、その辺は丁寧に対応していただきたいということと、あとやはりかなり子どもも親も不安だと思うんで、先生との相談体制であったりとか、その辺をしっかり確立していただきたいと要望しときます。よろしくをお願いします。

○高砂委員長 ほかにございませんか。いいですかね。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○高砂委員長 ないようですので、以上で質疑を（発言する声あり）

○和田委員 お気遣いありがとうございます。先ほどの説明で十分分かりましたので、あれですよねプログラミングのやつですね。分かりましたので大丈夫です。ありがとうございます

います。

○高砂委員長 ないようですので、以上で質疑を終結いたします。

教育民生委員会所管部の皆様、お疲れさまでした。

ここで、執行部入れ替えのため暫時休憩をいたします。

午前10時55分 休憩

午前10時58分 開議

○高砂委員長 休憩を閉じて会議を再開いたします。

続きまして、産業建設委員会所管のうち、産業振興部の事項について執行部の補足説明を求めます。

なお、発言は挙手の上、委員長の許可の後をお願いいたします。

○藤井産業振興部次長 産業振興部でございます。

ただいま配付させていただきました資料は、県が先日公表した6月補正予算案の経済対策の概要の抜粋でございます。これらの県事業とも連携しながら、しっかり対応してまいります。

それでは、補正予算書の11ページ、補正予算案の概要の5、6ページをお願いいたします。

予算書11ページの中段の2目商工振興費が産業振興部の対象事業となります。

まず、中小企業振興資金融資事業につきましては、概要の5ページの3つ目の丸の中小企業振興資金融資限度額の引き上げでございます。

新型コロナウイルス感染症の影響が長期化している中、厳しい経営状況が続く中小企業者等の資金調達のさらなる円滑化を図るため、本事業の融資限度額を一部1,250万円から1,500万円に引き上げ、事業の融資枠を拡大するための預託金について増額補正をお願いするものでございます。

続いて、予算書の緊急支援対策事業につきましては、概要5ページの1つ目の丸の飲食店等への激励金となります。長引く新型コロナウイルス感染症により、外出自粛の直接的な影響を受けている飲食業等の事業者への激励金として、1事業者当たり20万円を支給するものでございます。

続いて、予算書の新型コロナウイルス経済対策事業につきましては、概要の5ページの2つ目の丸のがんばる事業者応援補助金でございます。新型コロナウイルス感染症を乗り越えるため、デジタル化など新しい生活様式へ対応した業態転換等に取り組む中小企業者等を支援するがんばる事業者応援事業の増額をお願いするものでございます。

6月18日を締切りとしておりました1回目の募集で、見込みを大幅に上回る申請があったことから、補正予算と合わせて実施する見込みでございます。

なお、先ほどお配りしました県の6月補正予算案の全体概要の右上Ⅲの県内経済の下支えの2つ目の黒丸でございますが、県内中小企業の感染防止対策等を支援する補助上限50万円、補助率4分の3の事業が今後県において実施される予定であることから、事業の周知をしっかりと行ってまいります。

最後に、予算書のプレミアム付商品券発行事業につきましては、概要6ページとなります。新型コロナウイルス感染症の影響を受けている市内経済をさらなる消費喚起により活性化させるため、プレミアム付商品券を発行することとし、必要な経費の補正をお願いするものでございます。プレミアム付商品券は、1,000円券12枚の1セットを1万円で販売し、参加店の全店舗で使用できる共通券10枚と中小規模店舗のみで使用できる専用券2枚のセットで発行することとしています。

産業振興部は以上でございます。よろしく御審議のほどお願い申し上げます。

○高砂委員長 ただいまの補足説明に対する質疑を求めます。

○河村委員 11ページです。中ほど、プレミアム付商品券発行事業——概要ですと6ページになりますが——についてお伺いいたします。

様々な経済誌等読みますと、ワクチン接種率が50%超えたあたりとか、60%超えたあたりから経済が急激に復興するといったような、あるいはワクチン接種が最大の経済対策であるという論調が多いように見受けられます。そのときに合わせてのいろんな今御説明があったような飲食店の激励金とかそういった様々な事業というふうに、中でもプレミアム付商品券は幅広い層をターゲットにした事業だというふうに私は考えておりますが、執行部としての考え方をお聞かせいただければなと思います。

また、前回の商品券から市内郵便局での引換えといったものが行われておまして、混雑もなく、密にもならず、好評だったというふうに伺っておりますが、今回も同様に行われるのかお伺いいたします。

以上です。

○本間商工振興課長 お答えします。

まず最初のワクチン接種との関連と申しますか、経済対策という意味でのお話なんでございますが、一応、10月末までに希望される方のワクチン接種を終えたいというところがございます。それに合わせてプレミアム付商品券につきましては、9月からの使用で、12月までです。ワクチンの接種が終わりまして、それからの景気の浮揚策につなげていきたいというところで考えております。

郵便局につきましては、今、お話進めておるところですが、一応、そういった形で前回と同じように進めていけるものということで進めております。

○河村委員 ありがとうございます。市内業者の方からは、もう本当に大変だったけれども、ワクチン接種が進んだ年末商戦に大きな期待をしているといったような声を実際、たくさん伺っております。市内経済の下支えのために、これらのプレミアム付商品券の事業を丁寧に周知して、できれば起爆剤としていただきたいことを要望します。

以上です。

○高砂委員長 ほかにございませんか。

○久保委員 概要の5ページの飲食店等への激励金なんですけど、これ、支給の要件というのはあるんですか。それをまず教えていただきたいんですけど。

○本間商工振興課長 支給の要件なんですけれども、例えば飲食店でありますと、飲食業の許可を得ておられる方というのが条件になります。あと、それぞれ業種がありますけれども、そちらの業種に関しての営業許可といいますか、そういった写しを出していただくということが条件になるというところがございます。

○久保委員 ということは、前年度との売上げの比較とかそういったものは要件にならない、申請すればいいということですか。

○本間商工振興課長 基本的には、対象の業種の方、売上げ、全体的に下がっているという認識でありますので、条件という形では考えておりません。

○久保委員 ありがとうございます。前回、同じような応援金があったときに、業種の中に理美容業があったかと思うんですが、今回外れていますよね、これはどういった理由でというところを教えていただきたいと思います。

○本間商工振興課長 昨年ありました事業継続緊急支援給付金という形でありましたけれども、こちらは景気全体という話ではあったんですけども、今回の趣旨といたしましては、連休が明けて、市のほうから外出の自粛をお願いしていると。特に外出というところに自粛をお願いしたというところに特化してのそれに対する激励金という形になりますので、理美容業の方は直接の影響があるというふうには捉えておりませんので、今回は外させていただきましたというところがございます。

○三原委員 多分、今回の激励金も先ほど出た事業継続緊急支援給付金とほぼ同じだと思っておりますけど、この中で、先般もある飲食業の方から指摘があったんですけど、どうして市外から防府市に出店している人も対象になるのかという話がありました。これは、市外から防府で出店されている方も、私、そこまでまだ確認していなかったもので、そうですかって聞いたんですけど、市外から、例えば山口市から防府に店を出されているという

方も対象になるわけですか。

○本間商工振興課長 市内にお店があるということで考えておりますので、そちらを対象にできるということで考えております。

○三原委員 それで、その指摘を受けたときに、この激励金と給付金は税金で充当されているのではないかと。市外からこちらに出店される方が防府市に税金を落とされているのかということも御質問がありました。対症的にどのように考えていらっしゃるのか、教えていただきたいと思えます。

○本間商工振興課長 税金を払われている、払われていないというところはあるかとは思いますが、あくまで市内で営業されている方に対して、市内での外出自粛ということでお願いしておりますので、そういったことで対象にということで考えております。

○三原委員 じゃあ、前回、昨年行われた、5月ですか、補正で給付をされていますけど、そのときの市内件数と市外から出店されている人の件数、教えてください。

○本間商工振興課長 申し訳ございません。前回の給付の中の市外の方、市内の方というところの数字、ちょっと今持っておりませんので、また改めてお伝えしたいと思います。全体件数でよろしいですか。

○三原委員 いやいや、今、続きの質問だから、全体の中の市外の方は幾らかということ。

○本間商工振興課長 全体の件数は、飲食業でいえば約500件です。その中で市内、市外というのはすみません、今数字を持っておりませんので、ということです。

○三原委員 私たちも厳しいということは大変聞いております。ただ、正直、決してこれが悪いと言っているんじゃないかと、もっと具体的に、今どのような状況にあるかということもやはり説明する必要があるのではないかと思うんですけど、そのところ、状況を少し教えてください。

○本間商工振興課長 この事業をやるに当たって、飲食業組合の方とか、そういったところに聞き取りをしたんですけども、かなりの数、数字が、4月時点で落ちているということで、アンケートの結果とかを見ても、売上げの減少とかも9割に上ると、そういったところで、9割でもあるし、売上げの減少率といいますか、そういったところもかなり大きい数字で50%台とか、そういったところが3割あたりとか、これは県内の数字ですけども、そういった形でのかなり大きい影響が出ているというふうにお聞きしております。

○三原委員 できましたら、県内の数字というよりは、防府市で独自でやられる事業ですから、防府市の場合はこうなんですということも、やはり理由がなければ、こういう事業は成立しないのではないかと考えております。ぜひ、そういうところもきちんとお示しを

いただきたいと思えます。

それと、飲食業が悪いということは、それに関連する業種も悪いということにつながると思うんですよ。そういう調査なんかをされていないのですか。例えば、飲食業ですぐ頭に浮かぶのがお酒、もう酒店の方なんか本当、どうしたらいいかと、私はそういう感じで聞かされております。飲食業優先で、それに関連する酒店とか、全く対象にならないのですかという話も聞きます。ぜひ、1つ、どういうふうに調査をされたのか、今、アンケートとか、いろいろ聞き取りとかされたと思うんですけど、それに関連する業種ということについての調査とかはされていますか。

○本間商工振興課長 酒屋さんとかというところの直接の聞き取りはしておりませんが、飲食店の方というところの聞き取りで、お酒の納品が減っているといったようなお話とか、そういったお話の聞き取りはしてしております。

○三原委員 聞き取りはされたんですけど、対応策等は何か検討はされましたか。

○本間商工振興課長 検討はしたんですけども、このたびは、直接的な影響があったということで、対応させていただきたいということでございますので、御理解いただけたらと思えます。

○三原委員 あんまりしつこく言い……。前回も同じ回答でした。酒屋さんも、食品の方々もお店もありますよって私、指摘したと思うんですけど、ぜひ、これからまだまだワクチンを打たれても、これは100%ではないのですから、何が起こるか分かりません。ぜひ、そういうとこまできめ細かく、やはり目を向けていただきたいということを強く言っておきます。

それと、先ほどプレミアム付商品券、今回第3段、3回目ということになります。これで、今ちょっと理解なんですけど、プレミアム部分の2枚が中小企業店で使うようになりますよということなんです。10枚はどこでも使えるけど、プレミアム部分の2枚は2,000円ですね、それは、地元の中小企業店のみですよということなんです。

○本間商工振興課長 おっしゃるとおり、そういったことで考えております。

○白井産業振興部長 今の枚数の関係はそうなんですけども、2枚は、いわゆる中小規模で500平米未満を今想定しておりますが、未満の店舗で、残りのいわゆる500平米以上のスーパー、ドラッグストア、そういったものについては共通券のみという形で予定しております。

以上です。

○三原委員 ということは、2枚はもう特定してちゃんとそれが明記してあるということではないんですか。

○本間商工振興課長 間違いがないように、一応分かりやすい形でその2枚は、色を変えて——店舗の分け方ですか。

○三原委員 券が12枚ある。

○本間商工振興課長 分かりやすいようにということ、そういったことで対応したいと考えております。

○三原委員 それと、前回だったかな、1回目だったですか、地元の中小店舗で購入されると、再度抽選券、抽選ができますよというのがついていたと思います。なかなかいいことだなと思ったんですけど、その効果はどうだったですか。

○本間商工振興課長 効果というと、御好評だったという話は聞いておるんですけども、数字としてははっきりとした効果が出たというところではちょっと把握しておりません。ある程度は中小規模の店舗に、そういったことで効果があったのではないかと考えておりますが、数値的にちょっと詳しく出しているという形ではありません。

○三原委員 ぜひ、やはりもう3回目だから、せっかくそういうふうな考え方で地元を盛り上げようということでしたんだから、それがどのぐらい効果があって、どのぐらい使用されたかとかいうのはやっぱりこれもちゃんと数値で出るはずですから、示していただきたい。それと、毎回これ同じこと、今回も地元で2枚ということは大変いいことだと思うんですが、これまでのトータル的に量販店とか大型店、地元の割合はどのような割合になっているんですか。

○本間商工振興課長 割合でいいますと、かなりの数が大型店と量販店ということではなっております。換金額の業種でいいますと、総合スーパー等が約5割を占めていると。あとはドラッグストア等がかなりの割合を占めているというところでございます。

○三原委員 もうこれで終わりますけど、できたら、数字が分かるんだと思いますので、そういう数字はやっぱり示したほうが審査するのに大変役に立ちます。ぜひ、そういう数字も大まかじゃなくて、前回はこうであったと。だから今回は2枚はもうとにかく地元でしか使えないという対応にしましたとか、そういう形で示してもらえれば、我々もより理解しやすいし、と思いますので、よろしくお願いします。

○本間商工振興課長 すみません。補足させていただきます。スーパー使用がかなり多かったということでこのたび、大体500平米というところで分けておりますが、スーパーは大体500平米超えますので、まず2割のほうはそういったところを外して、500平米以内の店舗で使っていただきたいと、そういったところもありまして、このたび2枚のほうを設定させていただいたということでございます。すみません。

○高砂委員長 よろしいですか。ほかにございませんか。

○清水（力）委員 ちょっと確認でお伺いします。飲食店等への激励金なんですが、これ、飲食業の中で、届出をしていれば、これは移動販売を主としている業者でも対象となるのか、ちょっとお聞きいたします。

○本間商工振興課長 移動販売も食品衛生許可証があれば、対象ということで考えております。

○清水（力）委員 分かりました。あともう1点、プレミアム付商品券発行事業のことに
ついてお伺いしますが、先ほど三原委員の質問にちょっと関連することなんですが、市内
の店舗でこの商品券使われたところで福引をされていたと。これはちょっと聞いたんです
が、商工会議所の独自の予算でされているということをお聞きしたんですが、先ほどの回
答の中になかなかの好評であったというふうにありましたが、今回、3回目の商品券の発
行事業をするに対して、この商工会議所が実際、独自の予算でやっているこの福引、これ
を支援する方法というのは考えられなかったのか、ちょっとその辺お聞きしたいんです。

○本間商工振興課長 一応、独自でされる事業につきましては、あくまで商工会議所のお
考えのもと行われると考えておりますので、そちらのほうの補助等については今のところ
考えておりません。

○清水（力）委員 分かりました。とはいうものの、これは予算が発生するものでありま
すんで、なかなかすぐにはというのは難しいとは思いますが、しかしながら、商工会
議所などが独自で工夫されているところなので、それはやはり大事なことだと思います。
ですから、そういったところを支援する、応援する、そういった視点も今後は持たれるの
も1つの方法かなということをおし上げておきます。

以上です。

○今津委員 プレミアム付商品券のことで、ちょっと確認をしたいと思うんですけども、
先ほど12枚商品券を発行して、そのうちの2枚は小規模店で購入をしてもらいたいとい
うことで、小規模店での購入に配慮されたということで、それはそれでいいことだと思
うんですけども、これ、聞いておると、2枚だけしか小規模店での購入に使えないとい
うふうに聞こえたんですけども、これさらに希望があれば、使いたければ小規模店でさら
に12枚のうち何枚かを使えるというふうにしたほうが（発言する者あり）使えるの。分
かりました。結構です。

それと、ついでに、せっかく県の6月補正予算の概要について配付をいただいたんで、
これについて聞きたいことがあるんですけど、よろしいですか。

○高砂委員長 分かる範囲でお答えしますということです。

○今津委員 まず、左側の下の宿泊施設の高付加価値化等を図る取組を行う宿泊事業者を

支援とありますけども、この高付加価値化を図る取組というのは、その下に書いてある、対象経費のところに書いてある非接触チェックインシステムの導入経費とか、ワーケーションスペースの設置経費等とありますが、こういうことをやって高付加価値化を図るということと理解をしていいのかどうかお尋ねします。

分からんにゃ分からんで。しかし、せっかくこういうのを配付するんだから、それぐらいのことはちゃんと理解しとかにゃいかん。

○本間商工振興課長 すみません。今回お配りしたのが、今回の商工関係にちょっと関係するところが載ってあるページということで、ちょっとこちらのほう、直接関係ないんで、これ事業自体把握していないところではあるんですが、今まで事業の内容を読んだ限りでは、そういったことだと理解しておりますが、すみませんこれ以上は。

○今津委員 ちょっと部長に聞くんじゃけど、こうやって配付するんなら、当然、中身を十分理解をして、質問に答えられるような状況でなげにゃ困ると思うんですけど。部長は分かるんだよね。

○白井産業振興部長 これは、書いてあるとおりでと思っております、宿泊事業者がさらにそういった高付加価値を生むために宿泊事業そのものをやるのに非接触チェックインシステムだとか、新しい取組を、収益力を向上をする取組を特化して、宿泊事業者を支援しましょうということで、上限が750万、4分の3ということで、宿泊事業者を県として全県下的に支援していくという予算を計上されているということで理解しております。

○今津委員 ついでに、ワーケーションスペースって何か分かったら教えて。

○白井産業振興部長 ワケーションというのは、ワークとバケーションが一緒になっちゃうやつと思っております、休みの中で宿泊施設に来て、そこでいわゆるリモートで仕事をするというようなことをやれる、そういった誘致活動ができる、いわゆるリモートが部屋についているとか、そういった設備の導入だとかを支援されるんだろうということで思っております。

○今津委員 それと、右上の飲食店における第三者認証制度を創設とありますが、これ、防府市がやる場合にも当然、認証できなきゃ困ると思うんだよ。どういうことなのか。

○白井産業振興部長 山梨モデルとあって、今、山梨県がいわゆる飲食店を認証する仕組みで注目を浴びております。それは全県的に波及していこうという動きの中で、山口県が徹底した感染症対策を飲食店の認証をして、認証されたところには応援金を給付するという事業を今提案されているものと理解しております。

○今津委員 ちょっと山梨県の例を出して言われたけどちょっと分かりにくいんだけど、要するに、ここはちゃんとした飲食店と認定されている店ですよということを確認する制

度じゃないかと思うんだけど、その辺どうなんですか。

○白井産業振興部長 委員言われるとおりの制度でございます。

○今津委員 それと、市がこういったことをやっていく場合に、今、飲食店の数が、私が3月で一般質問した時点と現在と比べたら相当また減っているんですよ。そういった飲食店の件数、どの程度減ってきているのかということは把握しておくべきだと思うけども、しておられますかどうですか。

○本間商工振興課長 コロナの影響で閉店されたお店があるというふうには聞いておりますが、具体的な数は申し訳ございません、把握しておりません。

○今津委員 それじゃあまずいでしょう。ちゃんとその数字を把握しなきゃ。予算とも関係してくるわけだから、そんなふうじゃ困りますよ。ちゃんと把握してください。要望しておきます。

それと最後ですが、右の下ですが、ちょっと参考に聞くんですが、「もっとみんなでたべちゃろ！キャンペーン」というのはどういうものですか。

○藤井産業振興部次長 これは、第4弾ということで、これまで県においては、学校給食に地元食材を利用させていただこうということで、比較的ちょっと高級食材、居酒屋で使っていたようなもの、防府市でいうとハモなんかを学校給食で使っていただくと、その費用を支援するといった事業とか、そういったものとか、農産物とかを何か割引したり、キャンペーンしたりするような、様々な取組をされていらっしゃる、その第4弾だというふうに認識しております。

○和田委員 概要の5ページの上段なんですけど、飲食店等への激励金なんですけど、私も先ほどの三原委員の考え方と全く一緒で、まずは、この市内在住の市内事業者に限定できない理由というのを教えていただけますか。

○本間商工振興課長 ちょっと難しいところではあるんですが、一応、防府市内で営業されているというところでありますので、それを排除するというのはいかがなものかというところが第一でございます。

○和田委員 その考え方が私にはちょっといまいち理解できないんですが、基本的に激励金を出すと言いながら、その財源というのは税金ですよ。それならば、当然、市内在住で市内事業者が対象になるべきではないかと思うんですが、これ、多分このまま押し問答になると思うので、ここは強く要望しておきます。

それと、以前から申し上げておりますが、どうしても一部の事業者に偏って、例えば先ほども話が出ておりました小売業の方であったり、例えば理美容の中でも例えばネイリストとか、アイリストというんですか、ああいうエステ関係の方であったりというのは出た

という話を聞かないんですよ。一方で、今回連携するとおっしゃられていましたが、県の事業のほうは、県内に主たる事業所を有する中小企業者と、要件としてはコロナ前と比較して30%以上の売上げ減少しているところであれば、限定していないんですよ。こういうやり方というのは取れなかったんでしょうか、お伺いたします。

○本間商工振興課長 さきに御説明したとおり、あくまで外出自粛というところの観点でこのたびは予算を計上したものでございまして、そういった事業継続という意味合いのものではないということで御理解いただけたらと思います。

○和田委員 この事業の説明のどこにもありますように、やっぱりコロナで影響を受けているところですね。そこであればどこでも対象にするようにすればいいと思うんですが、その聞き取りも一部行っていただいているようですが、その声が入ってくるところと入ってこないところの差って一体何なんですか。教えてください。

○本間商工振興課長 入ってくるところと入ってこないところの差というとちょっと難しいところではあるんですけども、一応、商工会議所等、事業全体見られているところからこういった業種が今厳しいとか、そういったところを随時聞き取りしております、そういったところに入ってこないところがあるのかもしれないというところがございます。

○和田委員 ここについては最後にしますが、先ほど言いましたように、やっぱり税金の中から激励金という形で支給していくのであれば、やはり市内在住の市内事業者ということと、それであれば限定しない、いわゆる平等という観点をしっかりたたき込んでいただいて、事業に反映させていただきたいと思います。

その横の6ページのプレミアム付商品券発行事業ですが、これ、以前から申し上げておりますように、私、全世帯への配布を要望しておいたんですが、なかなかこれが反映されないんですが、これについてもちょっと平等性に欠けておるというふうに思うんですがいかがでしょうか。

○本間商工振興課長 全世帯への配布ということではなくて、今回8万という数を用意して、全世帯の方が買えるというような御用意はしておるといふふうに認識しております。

○和田委員 じゃあ、周知についてはどうなるんですか。またインターネットであったりとか、市広報であったりとか、どういう形なんですか。そのまま全世帯にまた申請書みたいなものが配られてというような形になるんでしょうか。

○本間商工振興課長 まずは市広報またはインターネットでお知らせするような形を取りたいと思っております。

○和田委員 以前から申し上げておりますように、市広報、結構見えない方も多いんで

すよ。実際に配られていない世帯もおるといふふうに聞いております。いずれにしても、これもう全部、全ての世帯に配ってしまえば職員の手間暇だって全然簡素化できるわけですよ。平等にもなりますし、あとはそれを活用するかどうかは、送られてきた御本人たちのことであって、いずれにしても平等という観点からこの税金というものの活用方法、切り離してほしくない、このことを要望して終わります。

○宇多村委員 私のほうから1点御質問いたします。がんばる事業者応援補助金の件ですけども、先ほど説明の中で、申請件数が予想を大幅に上回ったから増額するというお話だったんですけど、現時点でこの申請件数は何件ぐらいございました。

○本間商工振興課長 現時点なんですけれども、まだちょっと、出た数という意味なんですけれども、約800件を超える数の申請が出ているということでございます。

○宇多村委員 上限が30万ということになると、800件といたら、全然足らなくなるんですよ。

○本間商工振興課長 皆さんが30万円全てフルで使われるわけではございませんので、ある程度少額の方もいらっしゃると思いますので、それでもちょっとかなり多いとは思っておりますが、ということでございます。

○宇多村委員 ありがとうございます。それで、事業計画を出されるようになると思うんですけども、これの審査、これはどちらのほうでやられるのでしょうか。

○本間商工振興課長 こちら、職員と商工会議所とあとは中小企業診断士の方、事業の内容等については、そちらのほうで審査をするということでございます。

○宇多村委員 ということは、審査後は交付決定がされるということですよ。

○本間商工振興課長 そのとおりでございます。

○宇多村委員 最後になります。通常であれば交付決定を受けた後、事前に着手というのは一応禁じられておったりしますよね。補助金なんかであれば。でも、このコロナのケースの場合は、ちょっと事情が違うんですけど、これは、交付決定前の事業の着手というのは可能なのでしょうか。

○本間商工振興課長 一応、事業前の着手もオーケーとはしておりますが、ただ、その際に不交付となったときは御了承くださいという形ではアナウンスしております。

○宇多村委員 分かりました。ありがとうございます。

○高砂委員長 ほかにございませんか。

○田中（健）委員 プレミアム付商品券の発行事業について、お伺いします。8万セットで総額9億6,000万円ということですから、1億6,000万円分をプレミアムということ、この場合には基金ですか、それを使うような話ですが、予算は1億7,

500万ということになっていますので、1,500万円はこれ、いわゆる事務費といえますか、その共通券とか専用券作ったり、チラシを作ったり、そういうものになると思うんですが、この事務費の精査というのは後で市のほうがやって、余った分は返還していただくという形になるわけでしょうか。

○本間商工振興課長 事務費のほうはこちらのほうでまた再度確認するという形を取りたいと思っております。

○田中（健）委員 先ほど清水委員からもありましたが、それから、三原委員からもありましたけども、1回目のときに抽選券というようなものは、これは何人か議員が商工会議所に行ってお話を聞いたときに、商工会議所の独自のそういった予算でやったというようなお話を聞きましたが、それで、このプレミアム付商品券の発行事業に付随して、今、市が総額で予算化している以内で収まれば、そういうものについて付随的なものとしてそれも事務費として認めていいんじゃないかという気もせんでもないんですが、その辺、今後検討していただけないでしょうか。

○白井産業振興部長 そういった抽選券というか、また新しいやり方について、商工会議所のほうにぜひということで、一緒に協議はしているところです。市としては、しっかりとプレミアム付商品券を市民の皆様にも最高額まで考えられるだけ出して、独自の部分は商工会議所でしっかりやりましょうということで、役割分担を持ちながらやっていきたいと、中小店舗の参加を募りながらやっていくということで、先日はアパレルの冊子なんかも商工会議所独自でやっておられますけども、現場を一番知っている商工会議所の中でこれについては独自でやりたいというようなことで、事務費としてまたこれ別で抽選分をみるということは今のところ考えておりませんが、取組としてはぜひ共同事業としてやってみたいということで考えております。

以上です。

○田中（健）委員 5ページの飲食店への激励金ですが、昨年の議論もありましたように、飲食業に付随するところというような話の中で、例えば魚だとか農産物、これは健康福祉部の関係の事業で、妊産婦に対して1万円だとか3万円分をするだとか、あるいは花屋さんについては、高齢者への花のプレゼントというような形でされたという形で、この事業とはまた別の形で幾つかのものはされておるわけですがけれども、先ほどからお話がある酒屋さん、アルコールの販売の関係、これについては、いろいろやっぱり影響が大きいのもかかわらず、まさかこれを妊産婦に勧めるわけにもいかないでしょうから、これはやっぱり何か考えないといけないような気はするんですよ。お酒の販売のそういった業界の何か組合のようなものもあるはずでしょうから、やっぱりこれは実態をぜひ聞いて、その中

で今後、事業というものを検討いただきたいということを最初に要望ということで申し上げておきます。

それで、これについては、事務委託料という形で予算書のほうにはなっておりますが、これは、どういう団体に事務を委託するわけでしょうか。

○本間商工振興課長　こちらは、商工会議所に事務委託という形でお願いするものでございます。

○田中（健）委員　そうなりますと、1億5,000万円がみんな飲食業とかタクシー業とかに行くわけではなくて、商工会議所のいわゆる事務費といいますか、そういうものも当然この中には入ってくるんだと思うんですが、それはどれぐらいを考えておられるんですか。

○本間商工振興課長　概算で約100万円から150万円程度ということで考えております。

○松村委員　今議題になっていきます飲食店の激励金でございますが、確かにそういったところも正直つらいという声はかなりあります。しかし、もう既にこの5月の連休から、市のほうからも街宣車が出て、みんなが自粛している中、飲食店についても本当に死んでおるといふか、コロナの融資を受けておるんだけど、それももう食いつぶしたと。お金も借りれないと。家賃も払えんと。食材等、そういったものも購入できないようなところもあるというふう聞いておりますので、今回は、かなり即効性が必要になってきたところであろうと思いますし、そうなりますと、この激励金は早くそういう方々に、本当に救済を求める方々の手元に届けるのが何よりも肝要であろうというふうに思っています。

そこで、いつごろですね、早ければ早いほうがいいし、私も要望するところですけども、どういうふうに考えているのかちょっとお尋ねいたします。

○本間商工振興課長　この予算をお認めいただけたらということではありますけれども、議会終了後速やかに申請ができるような形にもっていきまして、周知等も行いまして、申請がありましたら、極力早くお支払いできるような形で進めてまいりたいと考えております。

○松村委員　何とぞよろしくお願いたします。

プレミアム付商品券につきましては、前回、どうやら郵便の関係でかなりそういった配送方法はよかったのかもしれませんが、往復はがきでお金を使って、結局1セットしか買えなかったということで、大変お得感も失われて、手間も結構かかった割にはちょっとがっかりされたというような話も聞いております。今回につきましては、どのようなセット販売をされていくのか、まずその辺についてお尋ねいたします。

○本間商工振興課長 前回までのプレミアム付商品券で、なかなか希望した枚数が購入できなかったというお声も聞いております。そういった面もありまして、今回8万セットということで、全てに行き渡るかどうかは分かりませんが、十分な数は御用意したと考えております。

抽選の方法につきましても、5枚セットを頼まれた人が1枚か5枚かみたいな極端な形ではなくて、何か段階的な方法が取れないかというところをまだ今検討しておるところでございます。

○松村委員 提案でございますけれども、やはり経済的な理由で1セットしか買えない人から5セットまで買える人もおると思いますし、かといってやはり皆さんそういうものをしっかり購入して、市内の経済も当然回していかないといいけんというような趣旨のもと、御賛同のもと、そういった商品券を買って、もちろんお得感も味わいながら、しっかり使っていきたいというふうに市民の皆さん考えていらっしゃると思うんですけども、やはりそういった1セットから5セットまでの要望にある程度、弾力的に受けられるような方法、例えばですけども、1セットから5セットまでの割当て枚数みたいなのを一応持つとして、そこに来た人らで行き渡れば行き渡る、行き渡らなかったら抽選をするみたいな形でやったら、例えば5セット申し込んだけども、例えば少ないところから取っていきよったら、最後やはり思いは一緒なんじゃけど、5セットで希望した人は買えなかったとか、そういう話になるとちょっとかわいそうだなと思うんで、平等なチャンスを、それぞれの枚数ごとの要望のチャンスを与えていただけないかと思っておりますけど、それについてお尋ねしたいと思います。

○本間商工振興課長 前回もそうだったんですけども、まずは申込みされた方全てに1セットというのは確保した上でなんですけれども、2セット、3セットと数が少ない方から割り当てていってという形で、5セットの方は、全員じゃないかもしれませんが、そういった形なるべく行き渡るような形というところで抽選してまいりたいと。今、そういったところで検討しておるところでございます。

○松村委員 私が言いたかったのは、要は、1セット希望の人が1万セットほど用意すると、2セット必要な人も1万セット用意するみたいな、そんな感じで、その中で出したらどうかという、そしたら希望にかなうんじゃないかなと。だから、要は多く希望した人が行き渡らない可能性が出てくると。それは少ないところからとっていくとなると、やはりそういった人が逆に不利益っちゃうか、不平等というか、じゃないかなと。

あともう一つ言うと、やっぱり1セットが2,000円なんですよ。昔、経済対策で5セット一気に販売したことがあったと思っておりますけども、そうなったときのお得感と今の

1セットで2,000円しかないというお得感、あんまりパンチ力がないというか、逆に何か買ってもあまり、ちょっといつもより贅沢してこういうの買ってみようとか、そういった気持ちが起こらないので、その辺はやっぱり検討してほしいなというような思いがあります。それだけちょっと要望しておきます。

それともう1点は、これも要望ですけども、今、500平米以下の小規模店舗につきましては、数字は多分かなり、7割、8割がスーパーとか大規模店舗じゃろうと思っています。だから、もっと小規模店舗のほうに使っていただきたいということで、今回2セット分ほど小規模店舗用につけられることは大変いいことなんですけども、併せて、ぜひこの辺のポスターといいますか、みんなで防府の経済を盛り上げようということで、ぜひ、そういった500平米以下の店舗で商品券なるべく使ってくださいますかみたいなPRをしていただきたいと思うんですよ。だから、そういった考えも、小まめに対応していただきたいと思いますが、ぜひよろしくをお願いします。何かあれば、答弁をお願いします。

○本間商工振興課長 今回、こういった形で2枚ほど専用券といいますか、作りしましたので、会議所とも協力しまして、PRのほうを考えていきたいと思っております。

○松村委員 ありがとうございます。

○高砂委員長 よろしいですか。ほかにございませんか。

○曾我委員 ちょっと2点ぐらい確認したいんですけど、今の松村委員、大体、主たる内容は1点なんですけど、抽選方法で、ちらっと聞いたのが、今まで1か5かという感じで、一か八かみたいな抽選方法だったんですけど、今回何かちらっと聞いたのが1セットの人は当然1セット最低限当たるんでしょうけど、5セットの中でも、5セットマックスを希望しても、2セット目までは皆さんにいくんなら行き渡るような抽選方法をして、3セットか2セットかで抽選するような感じというのを聞いたんですけど、その辺教えていただけますか。

○本間商工振興課長 そのような形で抽選したいということで話を進めております。

○曾我委員 ありがとうございます。

それと、7ページの新型コロナウイルス生活応援事業というのが1万円、非課税世帯1万5,000世帯に配られるということで、そちらの所管ではないというのは十分承知した上で聞くんですけど、今回のこのプレミアム付商品券の1万円の部分の色と、そちらの非課税の色が一緒だと。非課税世帯が商品券を違う色でもらうと、ちょっと差別を受けるといような感じにもなり得るんで、そういった工夫をされているというのを聞いたんですけど、それについてちょっと教えていただけますか。

○本間商工振興課長 そういった共通券をお配りするようになると思うんですけども、

全く同じもので、この方がそういった家庭とか、そういったことが分かるような形にはしないようにということで考えております。

○曾我委員 ありがとうございました。

以上です。

○高砂委員長 ないようですので、以上で質疑を終結いたします。

執行部の皆様、お疲れさまでした。

ここで、暫時休憩をいたします。

午前 11時58分 休憩

午前 11時58分 開議

○高砂委員長 休憩を閉じて、会議を再開いたします。

これより議員間討議を行います。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○高砂委員長 ないようですので、議員間討議を終結いたします。

ここで、執行部入場のため、暫時休憩をいたします。

午前 11時59分 休憩

午後 0時 開議

○高砂委員長 休憩を閉じて会議を再開いたします。

これより討論を求めます。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○高砂委員長 討論を終結して、お諮りいたします。本案については、原案のとおり承認することに御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○高砂委員長 御異議ないものと認めます。よって、議案第43号については、全員一致で原案のとおり承認されました。

以上をもちまして、当委員会に付託された案件についての審査を終了いたします。

これをもって、予算委員会を閉会いたします。大変お疲れさまでした。

午後 0時01分 閉会

防府市議会委員会条例第30条第1項の規定により署名する。

令和 3 年 6 月 2 2 日

防府市議会予算委員会委員長 高 砂 朋 子